

平成30年度 部局別施策展開方針報告書の見方

平成30年度 企画政策部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05	政策展開の方向性																											
	都市	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して暮らせる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。																										
	基	平成30年度の取組状況報告																										
	盤	05-01 市街地整備の推進 ・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設等について、江別の顔づくり事業の進捗などにより、成果指標である「市街地整備に満足している市民割合」は76.7%となりました。 ・高齢者の住み替えを支援し、子育て世代の移住を進めるため、住み替えニーズの把握強化と住み替え先への取組を進めました。平成30年度は大麻出張所に開設した住み替え相談窓口の継続と、アンケートによる調査を行ったほか、大麻・文京台専用ホームページやフェイスブック等のSNSによる情報発信などに取り組みました。 ・駅周辺の安全性、快適性の向上とバリアフリー化の促進のため、平成30年度は野幌駅周辺の交通施設のバリアフリー化を建設部とともに進めました。																										
	05-02 交通環境の充実 ・公共交通において大きな役割を担っている路線バスは、運転手不足と利用者減少により運行規模を維持しにくくなっていることから、平成30年度は、持続可能な市内バス路線網を形成するため、地域公共交通活性化において、地域公共交通網形成計画と地域公共交通再編実施計画を作成しました。また、これらの計画に基づいた路線再編事業を実施したほか、路線バスの現状、路線再編等を周知するための広報活動や、利用促進を図るためマップ、乗り方ガイドの発行などに取り組みました。																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)</td> <td>%</td> <td>76.7</td> <td>79.1</td> <td>80.2</td> <td>80.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)</td> <td>%</td> <td>57.9</td> <td>65.9</td> <td>64.4</td> <td>63.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H28年度	H29年度	H30年度	目標	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	79.1	80.2	80.0		交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	65.9	64.4	63.6	
政策の成果指標	単位	(初期値)	H28年度	H29年度	H30年度	目標																						
市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	79.1	80.2	80.0																							
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	65.9	64.4	63.6																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数</td> <td>件</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>34</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員</td> <td>千人</td> <td>548</td> <td>610</td> <td>602</td> <td>548</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数	件	3	15	34	17		「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	610	602	548	
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																												
「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数	件	3	15	34	17																							
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	610	602	548																							

○まちづくり政策
えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)のまちづくり政策について部局別の展開方針を記載しています。

○政策展開の方向性
えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)に記載の内容を転記しています。

○展開方針
平成30年度の各部の取組状況報告について、当該部が関係している「取組の基本方針」毎に記載しています。

○初期値ほか
初期値は平成25年度の実績値または見込値などを記載しています。平成28年度以降の欄は実績値を記載しています。

○個別計画・重点事業
各部において策定している個別計画や、主要な事務事業について、政策別に記載しています。

○えべつ未来戦略
各部における「えべつ未来戦略」の関連事業を記載しています。

○政策部局毎に「まちづくり政策」について01~09の順に記載しています。

○政策の成果指標
政策の進み具合を記載しています。

上段
個別計画や事業の名称
下段
進捗状況を測る指標名

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦略	■戦略プロジェクト「関連事業」(担当課)
戦略1 ともにつくる協働のまちづくり	■1B 大学が活躍するまちづくり 「大学版出前講座支援事業」(企画課) 「大学連携調査研究助成事業」(企画課) 「大学連携学生地域活動支援事業」(企画課) 「学生地域定着自治体連携事業」(企画課)
戦略2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり(えべつ版コンパクトなまちづくり) 「公共交通利用促進対策事業」(政策推進課参事 公共交通担当) 「大麻地区住環境活性化事業」(政策推進課参事 シティプロモート・住環境活性化担当)
戦略4 えべつの魅力発信シティプロモート	■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「ウェルカム江別事業」(広報広聴課) 「えべつシティプロモーション事業」(政策推進課参事 シティプロモート・住環境活性化)

○戦略1~4に関して
平成30年度にその部局が関連事業を実施した場合に、該当する戦略プロジェクト名、事業名、担当課等の名称を記載します。(関連事業がない場合は空欄)

○各部の資源
各部の資源として、予算規模及び職員人件費の推移を記載しています。

3. 企画政策部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額(千円)	一般会計(A)	573,222	158,576	97,560	133,973	234,874
	特別会計(B)	0	0	0	0	0
	合計(A+B)	573,222	158,576	97,560	133,973	234,874
正職員人件費(千円)	人工(a)	28	30	30	31	31
	平均単価(b)	7,853	7,764	7,670	7,618	7,627
	人件費(a×b)	219,884	232,920	230,100	236,158	236,437
総額		793,106	391,496	327,660	370,131	471,311